

発議第13号

療養病床の再編計画見直しを求める意見書

標記について、会議規則第14条の規定に基づき提出する。

平成20年12月19日提出

提出者 高山市議会議員 車 戸 明 良

賛成者 高山市議会議員 大 木 稔
杉 本 健 三
島 田 政 吾
伊 瀧 明 博
小井戸 真 人
村 瀬 祐 治
溝 端 甚一郎
中 箴 博 之
藤 江 久 子
水 口 武 彦
松 山 篤 夫
牛 丸 博 和
倉 田 博 之
丸 山 肇

療養病床の再編計画見直しを求める意見書

政府は、全国に３７万床（平成１８年度）ある療養病床について、平成２３年度末までに、介護療養病床１２万床を介護施設等に転換するなどの再編計画を発表している。

この再編計画を受けて、市内で唯一療養病床を持つ高山厚生病院（介護療養病床７０床・医療療養病床３０床）では、胃ろうや気管切開により常時処置を必要とする患者が多く、家族や市民からは再編計画への大きな不安が寄せられている。また、このまま老人保健施設等に転換されることになれば、病院の経営状況が悪化しその不安が広がることも懸念される。

よって、国におかれては、療養病床の再編計画の見直しを行うとともに、老人保健施設等へ転換する場合には特段の支援措置を講じるよう下記の点について強く要望する。

記

- １．療養病床の再編については、地域の実情と施設の規模や経営状況を鑑み、必要な病床数を確保するとともに、緩やかな移行を支援すること。
- ２．医療療養病床の診療区分については、実情に合わせて見直すこと。
- ３．医療職や介護職員の人材を確保するため、報酬の見直しを行うこと。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

平成２０年１２月１９日

高 山 市 議 会